

2002年11月19日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

Array Networks 社、Web トラフィックマネージャ新製品 Array TM-C の国内出荷開始 ～NVCをはじめとする代理店を通じ開始～

Array TM-C は、第3世代の SSL エンジン[®]を標準搭載
SSL-VPN 製品、Array SP、SP-C シリーズも同時にバージョンアップ

記

Web トラフィックマネージャの開発、製造元である Array Networks 社は、統合型 Web トラフィックマネージャ、Array TM シリーズの普及型モデル、Array TM-C を発表、ネットワークバリューコンポネンツをはじめとする代理店を通じ販売を開始した。この Array TM-C は、先月出荷が開始された Array TM 同様、第3世代の SSL エンジン[®]を標準搭載。RSA キーエクスチェンジだけでなく、ボディ本体の暗号化処理もハードウェアで実行。これにより、大きなサイズのファイルを暗号化/複合化する場合でも、ワイヤスピードの SSL 処理を実現しました。

同時に、SSL-VPN 機能をワンボックスで提供する、Array SP、Array SP-C シリーズも SSL アクセラレータ機能をバージョンアップしたバージョンを出荷開始しました。Array TM、Array TM-C 同様、Array SP で 5,000SSL トランザクション/秒以上、Array SP-C で 800SSL トランザクション/秒以上と、大幅な性能改善を実現しました。

Array TM-C は、レイヤー4-7 負荷分散、SSL アクセラレーション、超高速メモリーキャッシュ、Webwall セキュリティ、ダイナミックコンテンツ圧縮、広域負荷分散そしてクラスタリングなど、ブロードバンド時代に必要となる Web トラフィックマネジメントの必須機能を1台のアプライアンスに統合。業界最高の性能と信頼性を、最低の導入コストで実現できます。

Array TM-C の主な新機能、パフォーマンス

- 400-800SSL トランザクション/秒の処理で、ワイヤスピードの SSL アクセラレータを標準搭載。(Array500 では 200SSL/秒)
- 同時 SSL 接続数も 4,000-20,000 接続まで拡張
- HTTP1.1 の処理速度も最大 5,000 リクエスト/秒に改善。(同 Array500 で 4,000 リクエスト/秒)
- オプションのリアルタイム HTTP 圧縮機構により、バンド幅を軽減
- ファイヤウォール負荷分散
- カスタマイズ可能な HTTP エラーメッセージ
- クラスタ間で高度なスケラビリティを実現する CARP (Cache Array Routing Protocol) による分散キャッシュ機構
- トランスペアレントプロキシモード対応
- バイトレンジリクエスト対応
- XML-RPC によるリモートマネジメント
- 特定のエラーメッセージに対する通知と警告機構
- デバッグとトラブルシュートのための ARP 管理

【Array Networks について】

Array Networks は業界初の完全統合型 Web トラフィックマネジメントおよびセキュアプラットフォームの開発社です。Web トラフィックマネジメントにおける複雑さとリスクを劇的に削減する Array TM シリーズ、セキュアなイントラネット/エクストラネットアクセスを実現する Array SP シリーズを提供しています。カリフォルニア州 Campbell に本拠をおき、ドイツ、イギリス、フランス、日本、中国、シンガポールなどワールドワイドに展開しています。Array Networks 社製品は、シリコンバレーにて開発、製造され、直接あるいはチャネルを通じた販売とサポートを行っています。さらに詳しい情報は、www.arraynetworks.net にアクセスしてください。

以 上